

FRIENDLY

# FRIENDLY REPORT

第58期 中間報告書

平成23年4月1日→平成23年9月30日



株式会社フレンドリー

証券コード：8209



「経営構造改革計画」を  
着実に実行し、  
早期に黒字体質への転換を  
目指します。

代表取締役社長  
中井 豊人

当社は創立以来、関西を中心に、レストランチェーン「フレンドリー」をはじめとして数々の業態を展開し、多くのお客様に食の楽しさを提供してまいりました。家庭とは違う空間で、豊かな食文化を提供し、お客様の日々の暮らしをより豊かにする—それこそが当社の社会的使命だと考えております。これからも当社は、毎日お迎えする数多くのお客様の喜びの輪をさらに大きなものへと広げてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、消費に対する自粛ムードが広がり、さらに電力不足問題、円高・株安の進行、雇用・所得環境への不安感を背景に、個人消費は低調に推移いたしました。当外食業界におきましても、消費者の節約志向に加え、放射能汚染による食の安全性への関心の高まり、外食企業間・中食業界との低価格競争の激化等により、取り巻く経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、早期に黒字体質への転換を果すため、平成22年10月に策定した

「経営構造改革計画」を着実に実行しております。「店舗数の拡大による規模の効果を求める経営から、利益率や各店舗ごとの採算性を重視する経営スタイルへの転換」「CS活動を軸にした企業風土の改革」を基本方針とし、具体的施策として、①業態ポートフォリオの見直し、②「香の川製麺」「ハッピーコング」の新業態の展開と実験、③オペレーションの改善、④CS活動への取り組み、⑤不採算店舗の閉鎖、⑥人員の削減、⑦物流・工場のアウトソーシング化、に取り組んでまいりました。今後は、経費削減施策(原価率改善、人件費率改善、販売促進費の効率的使用)に加え、新規顧客獲得やリピーター顧客数増加のための売上向上施策への取り組みを実施してまいります。

店舗展開につきましては、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」の省コスト店舗1店舗と昨年8月に実験を開始した「ハッピーコング」を3店舗(3店舗とも「ファミリーレストラン フレンドリー」から業態転換)の合計4店舗を新規出店いたしました。また「ファミリーレストラン フレンドリー」4店舗(内 3店舗は業態転換)と「団欒れすとらん ボンズ」1店舗の合計5店舗を閉鎖しましたので、当第2四半期会計期間末の店舗数は前事業年度末比1店舗減少し、98店舗(前年同期比14店舗の減少)となりました。「ハッピーコング」はステーキ・ハンバーグ中心の全メニューに食べ放題のサラダバーが付いた新業態であります。

業態別には、こだわりの本マグロが好評の「産直鮮魚と

寿司・炉端 源ぺい」27店舗、「おいしい・たのしい・ここちよい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」26店舗、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」17店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」12店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」11店舗、「ハッピーコング」4店舗、「新・酒場 なじみ野」1店舗となっております。

消費に対する自粛ムードが広がったものの、「経営構造改革計画」の着実な実行により、人件費を始めとする経費削減策が奏効し、損益面は大幅に改善いたしました。一方、不採算店舗の閉鎖(前年同期比14店舗の減少)に伴い売上高は減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は5,199百万円(前年同期比570百万円の減少)、営業損失は24百万円(前年同期比565百万円の改善)、経常損失は20百万円(前年同期比567百万円の改善)、四半期純損失は21百万円(前年同期比1,640百万円の改善)となりました。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 中井 豊人

昨年立ち上げた「ハッピーコング」が好調を維持し、業態転換の3店舗を含め4店舗展開しております。また、東日本大震災以降の中食志向の高まりを受け、「源ぺい」では10月より試験的に寿司の宅配事業を開始いたしました。今後とも、お客様満足度向上のため、品質・価格・サービス等あらゆる面から改善・向上に取り組んでまいります。



「おいしい」「たのしい」「ここちいい」をテーマに地域に根ざしたカジュアルなファミリーレストランです。お客様の健やかな生活を考えて、バランスのとれたメニューと、こだわりの美味しさを取り揃えてお迎えしています。



26 店舗



ステーキ&ハンバーグ WITH サラダバー  
**Happy KONG**  
 ハッピーコング

4 店舗

「ハッピーコング」は、リーズナブルな価格で「豊富な品揃え」「おいしい」「楽しい」ステーキ・ハンバーグ専門店です。すべての鉄板料理でサラダバーが食べ放題となっております。



※店舗数は、平成23年12月末予定のものです。

回転寿司  
 竹とら **ボウズ**

11 店舗

食を通じた団樂とふれあいの絆づくりをテーマにした和食レストラン。新鮮な旬の食材を旨味と持ち味に活かしたメニューには定評があります。



## 有馬酒の 五ヶ所焼 源へい

旬の魚と寿司・炉端のお店です。厳選された海鮮食材にこだわり、なかでもこだわりの本まぐろはご好評をいただいております。

27 店舗



## 新・酒場 なじみ野 Kajiri

1 店舗

「安くて旨い」、「毎日通いたくなる居心地の良い」新時代の「酒場」として、家庭的な雰囲気の中でお手頃価格のお料理をご用意しております。



## 土筆山ぼろ

日本の原風景「里山」をテーマにした都市型居酒屋です。どこか懐かしさを感じる店内で、和み料理と味わいの酒を楽しんでいただけます。

12 店舗



## 釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺

うどん

17 店舗

厳選した素材とこだわりの製法で作り上げた風味豊かな自家製麺を、セルフスタイルでお楽しみいただける讃岐うどん専門店です。



## 貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末	前期末
	平成23年9月30日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,335	1,396
固定資産	5,263	5,478
有形固定資産	3,489	3,649
無形固定資産	41	44
投資その他の資産	1,731	1,784
資産合計	6,599	6,875
(負債の部)		
流動負債	3,000	2,811
固定負債	723	1,165
負債合計	3,724	3,977
(純資産の部)		
株主資本	3,846	3,825
資本金	3,975	3,975
資本剰余金	3,058	3,058
利益剰余金	△ 3,175	△ 3,196
自己株式	△ 11	△ 11
評価・換算差額等	△ 971	△ 927
その他有価証券評価差額金	1	3
土地再評価差額金	△ 973	△ 930
純資産合計	2,874	2,898
負債・純資産合計	6,599	6,875

## 損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	5,199	5,769
売上原価	1,605	1,838
売上総利益	3,593	3,930
販売費及び一般管理費	3,618	4,521
営業損失	24	590
営業外収益	79	82
営業外費用	74	79
経常損失	20	587
特別利益	27	9
特別損失	41	1,046
税引前四半期純損失	34	1,623
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	△ 29	21
四半期純損失	21	1,661

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	139	△ 653
投資活動によるキャッシュ・フロー	35	△ 370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 195	367
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 19	△ 655
現金及び現金同等物の期首残高	1,148	2,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,128	1,624

## 中間配当についてのお知らせ

当期の中間配当につきましては、まことに遺憾ながら見送らせていただくことになりました。  
何卒ご了承いただけますようお願い申し上げます。

## 和食業態

## 「冬の宴会メニュー」新登場!!

今年も冬の宴会シーズンが近づいてまいりました。フレンドリーグループは『産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい』・『和み料理と味わいの酒 土筆んぼう』・『団欒れすとらん ポンズ』の3業態で、今年も豊富な宴会メニューをラインナップいたしました。

『土筆んぼう』では、各コース選べる鍋をご用意させていただいております。鍋の種類も「両国ちゃんこ鍋」「海鮮ちゃんこ鍋」「博多もつ鍋」「海鮮辛口キムチチゲ鍋」



【土筆んぼう】「なごみコース」 【源ぺい】「魚市場コース」 【ボンズ】「団欒鍋コース」

「牛豚しゃぶしゃぶ鍋」と多種多彩にそろえております。

『源ぺい』では、人気NO.1の「魚市場コース」をさらに充実いたしました。鍋料理も源ぺいらしさをアピールした「海鮮ちゃんこ鍋コース」を新しくご用意させていただいたほか、今では源ぺい名物になっております「かに食べ放題コース」も健在です。

『ボンズ』では、全国各地のB級グルメが楽しめる「ボンズB級グルメコース」を新たにご提供しております。また、お客様からご好評をいただいております「名物ちゃんこ鍋」をはじめ、「博多牛もつ鍋」「てっぱん鍋」「牛豚しゃぶしゃぶ鍋」「かにすき鍋」と豊富な鍋の種類をご用意しております。

懇親会、各種会合、慶弔事等々ご宴会のご利用を賜りたく、従業員一同皆様のご来店を心よりお待ちしております。



## 予約販売のお知らせ

## フレンドリーのクリスマスケーキ!

毎年恒例となっておりますクリスマスケーキの予約販売を今年もさらにバージョンUPしてご用意させていただいております。

今年のケーキは、作りたてのフレッシュな生クリームケーキで、きつとご満足していただける商品となっております。また、クリスマス特別パーティーセットといたしまして生クリームケーキ(5号)にフライドチキン5ピース&ピザのセットで税込4,480円からご予約を受け賜っております。

店内販売では、昨年ご好評をいただいたフライドチキ

ン食べ放題セット税込1,449円もご用意しております。クリスマスは是非フレンドリーをご利用いただけますよう、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

※クリスマスケーキの販売は「フレンドリー」26店舗、「ハッピーコング」4店舗での販売になります。



## 会社の概要

(平成23年9月30日現在)

商号	株式会社 フレンドリー
英文商号	FRIENDLY CORPORATION
設立	昭和29年8月9日
資本金	3,975,062,600円
発行済株式総数	14,645,584株
従業員数	229名
本社	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
工場	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
主な事業内容	ファミリーレストラン事業

## 役員

(平成23年9月30日現在)

代表取締役会長	重里育孝
代表取締役社長	中井豊人
取締役上席執行役員	三好秀文明
取締役執行役員	和田高明
上席執行役員	小瀬透
執行役員	土山能孝
執行役員	中山尾武史
常勤監査役	山口利昭
監査役	* 山口利昭
監査役	* 大西耕太郎

(注) ※印は、社外監査役であります。

## 株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 61,800,000株

発行済株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,645,584株  
(うち自己株式24,561株)

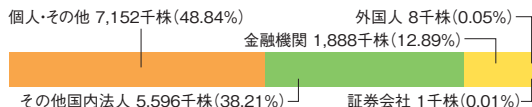
株主数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,809名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社さぎすな	3,920	26.81
重里育孝	2,009	13.74
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4)	656	4.49
アサヒビール株式会社	500	3.42
株式会社りそな銀行	442	3.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	255	1.74
みずほ信託銀行株式会社	249	1.70
東京海上日動火災保険株式会社	204	1.40
サントリーピア&スピリッツ株式会社	200	1.37
三菱食品株式会社	142	0.97

(注) 持株比率は、自己株式(24,561株)を控除して計算しております。

### ●所有者別分布状況



## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
その他、必要あるときはあらかじめ  
公告して定めた日
- 株主名簿管理人および  
特別口座口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
事務取扱場所 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告  
(<http://www.friendly-co.com/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由  
によって電子公告による公告をす  
ることができない場合は、日本経済新聞に  
掲載する方法により行う。
- お問合せ先 〒168-8507  
(郵便物送付先) 東京都杉並区泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社  
証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-288-324
- 特別口座に関する  
事務取扱所 みずほ信託銀行株式会社  
全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく  
有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。